

令和6年度京都府感染症対策連携協議会 議事概要

1 開催日時

令和7年2月4日（火）14:00～15:30

2 結果概要（内容）

- ・京都府の感染症対策の取組状況
- ・京都市の感染症対策の取組状況
- ・構成員による取組状況

3 主な意見等

【医療提供体制に関すること】

- ・協定締結後の確保病床の実効性を高めてほしい。
- ・自宅療養者等への医療の提供では、訪問看護事業所の達成率が低いようだが、原因がわかれば呼び掛けたい。
- ・医療提供体制の後方支援の下り搬送については、機関数の記載はあるが、病床数の把握ができるか検討をお願いしたい。
- ・医療人材の派遣については、看護師の誰をどこへ派遣するのか等を具体的に定める等実効性の確保を進められたい。
- ・発熱外来の協定数について、時間がたてば、医療機関の考え方が少しずつ変化する可能性もあるので、定期的な意向アンケート調査を検討されたい。

【検査体制に関すること】

- ・検査体制について、他県で検査技師会と協力し、技師の人材育成に着手していると聞いており、参考にされたい。
- ・ゲノムサーベイランスを実施するための十分な予算を確保されたい。

【宿泊療養体制に関すること】

- ・宿泊療養施設について、京都市以外の確保は難しいだろうが、特に府の北部の検討をお願いしたい。

【人材の養成・資質の向上に関すること】

- ・高齢者施設向けオンライン相談会は良い取組である。出席者をより増やすため周知を推進されたい。
- ・新型コロナの5類化への位置付け変更後も感染対策は終わったわけではないので、府民の意識も醸成していかれたい。それが平時の支援体制にもつながる。
- ・感染症対応の留意点を少しずつ忘れていく施設もあるから、府民への感染対

策に関する啓発や施設職員への感染予防研修等を通じて、感染対策の意識を高めていく必要がある。

- ・高齢者施設では管轄保健所と連携した感染対策の研修を実施しているが、施設の参加率が低下してきている。

【今後の予定に関すること】

- ・検討課題としてリスクコミュニケーションに関する記載があり、取組を推進されたい。
- ・感染症危機は災害と併発することも十分あり得る。高齢者施設や診療所の対応に備え、災害備蓄と併せて感染症対策物資の備蓄を進めてほしい。

【情報に関すること】

- ・情報収集の方法は、紙ベースでなく、ネット（電磁的方法）で情報共有できるような形にすべき。
- ・情報のICT化、医療DX化は京都府・京都市の力を合わせて進めていただきたい。